



第14号

平成22年10月15日 発行

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71  
TEL 078-925-0860 FAX 078-925-0878

デザイン・印刷 株式会社 サラト  
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172  
tel 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp/>

けやき会とは：兵庫県立看護大学卒業生・兵庫県立看護大学大学院修了生、兵庫県立大学看護学部卒業生・兵庫県立大学大学院看護学研究科修了生、在学生、特別会員(旧現教員)を会員とし構成されている同窓会です。

## けやき会HPリニューアルオープンお知らせ

けやき会HPをリニューアルオープンしています。

URL:<http://www.keyaki-kai.com/> E-mail:[info2@keyaki-kai.com](mailto:info2@keyaki-kai.com)

内容の充実、管理情報の一元化とセキュリティの強化、電子媒体の利用によるコスト削減などを目的に、名簿管理や会報発行でお世話になっている株式会社サラトにHP開設を委託しました。コンテンツも充実しておりますので、ぜひご覧ください。



## 櫛まつりを終えて

けやき会 会長 芝田 健輔

平成22年5月に櫛まつりが無事に開催できたことを嬉しく思います。去年の今頃を振り返ってみると新型インフルエンザの影響で多くの事業や催しが中止になったことが思い出されます。今回の櫛まつりは雨の中の開催でしたが、学生、地域ケア研究所、先生方、地域のみなさん、それぞれが時間をかけて準備をしてきた企画を成し遂げることができたのではないのでしょうか。

けやき会企画では「場所がかわればこんなに違う看護の世界」と題し、講演会を行いました。お忙しいなか講演していただいた片田先生、星さん、高田さん、ありがとうございました。参加された方は、この機会を通して日常ではあまり経験できない海外との関わりについて考えることができたのではないのでしょうか。私が参加して印象に残った内容を挙げさせてもらおうと、言葉は通じなくても目で語ることでコミュニケーションができること、看護=かんど=キャンゴ=We Can Go!、「看」という漢字には手と目が含

まれており看護においてこの二つが重要であることです。これまでは海外と看護の関わりについて考える機会はありませんでしたが、今回の講演会を終えて以前思っていたよりも海外が身近に感じるようになりました。

櫛まつりは今回で3回目の開催と言うこともあり、看護学部のイベントとして定着してきているのではないのでしょうか。卒業生が大学に戻ってくる機会にもなりますし、地域の方々や先生、在校生との交流の場になっていると思います。これからもより多くの人に参加していただき、看護学部との交流を深めていくことができるように学生会を中心に、けやき会も活動していきたいと考えています。

話は変わりますが、この夏に毎年恒例のオープンキャンパスが開催され、これから看護を学ぼうとしている多くの高校生が明石キャンパスを訪れました。私も入学前にオープンキャンパスに参加しましたが、看護師という夢を抱いている高校生や大学の魅力や入試について相談にのっている学生を見ていると、当時の気持ちを思い出し、自分も頑張ろうと元気をもらいました。



# けやき会主催セミナー

昨年は新型インフルエンザの影響で中止となってしまった櫛まつり。今年5月23日（日）に開催することができました。

今年のけやき会主催セミナーは「場所がかわればこんなに違う看護の世界—海外の看護の現状にふれて—」をテーマに、世界の人々と看護を通して関わった方をお迎えしてお話していただきました。



## 会議は踊る

片田範子先生



星さんはインドネシアなど海外からの看護師研修生に対し教科書を提供するなど、彼女たちの悩みをしっかりと受け止め援助され、交流されていました。国際看護を遠いと感じたら、自分から近づいてみればよい、というメッセージをいただきました。

高田さんは災害が発生すればすぐに日本出発の準備をする！現地では言葉は通じなくても、身振り手振りで、笑顔で通じ合えることを教えて下さいました。

## 身近にある国際看護

星 夕子さん（兵庫県立大学 看護学部 3期生）



## 国際緊急援助を通して見た日本の看護

高田洋介さん（兵庫県立大学 看護学部 3期生）





今年も足浴、アロママッサージ、  
まちの保健室、模擬店など  
さまざまなブースがあり賑わって  
いました。皆さん、来年もぜひ  
お越しくださいね。



# 卒業生の今

## 政令市の保健師しています

神戸市垂水区健康福祉課 竹原 奈央（2期生）



みなさま、こんにちは。2期生の竹原（内海）奈央と申します。

大学を卒業して早十数年、3年ほど病院に勤務し、結婚・出産を経て現在は神戸市で保健師をしています。

学部生の時は正直、保健師になることは全く考えていませんでした。でも病院で、喘息発作で繰り返し入院するケースや、表情が乏しく心理的なネグレクトを思わせる小児の患者さんを見て、自宅での生活が気になったのが第一のきっかけ。そして、出産後働き始め、臨時職員で保健師を経験したことから、今に至っています。

今は区役所で結核管理やその他感染症にかかわる業務を中心に、成老人の健康教育の事業などを担当しています。結核という病気は、罹った本人からあまり周囲に話すことはないの、あまり意識しない感染症だと思います。しかし今も結核菌はしぶとく生きていて感染・発症する方は確実におられます。感染症法に基づき、医療機関と連携しながら患者となられた方の治療終了までを支援し、接触者には必要に応じ健診を勧めるなどして、感染の拡大を予防します。知らぬ間の感染もありますので、元気でも1年に1回は胸部のレントゲンをとりましょう！

家に帰ると、小学生と4歳保育園児の母です。ハムスターが回し車で高速回転しているような毎日ですが、こどもたちは着実に大きくなりますね。そのことに安心したり驚かされたりしながら、日々仕事とのバランスをとっているところです。

## これまで、そしてこれからの出会い

兵庫県加古川健康福祉事務所 田島 菜保子（9期生）

けやき会会員の皆様、こんにちは。学部9期生の田島菜保子（旧姓 下村）です。

大学を卒業しはや6年が経ちました。私は卒業後兵庫県に就職し、県の保健師として働いています。新任最初の勤務地は芦屋健康福祉事務所で、母子・精神・難病・健康づくり・結核・感染症の分野を一通り経験しました。そして、3年前に加古川健康福祉事務所に異動となり、最初の2年は結核・感染症を担当し、昨年は新型インフルエンザの波に揉まれました。今年度は母子・難病を担当していましたが、現在は産休中でこの8月に第1子を出産予定です。

県が担う分野は広域的、専門的であり、地域の健康・保健福祉体制及び関係機関とのコーディネート役割を求められる場面が多くあります。訪問等を通じて住民と関わるなかで地域のニーズをくみ取り、それを活動に反映させることが大切です。私は、これまでに関わった住民や関係職種の方々にたくさんのことを教えられ、育ててもらったと実感しています。地域でのひとりひとりとの出会いと関係づくりこそが、保健師としての根底にあるやりがいであると思います。

私はこれからしばらく職場を離れ、新たな家族との出会いと関係づくりを経験します。初めての子育ては希望と不安でいっぱいですが、模索しながらも楽しみたいと思います。育児は「育自」であると感じることがあります。子どもに様々なことを教えてもらい、これまでの自分にはないものが成長できたらと期待しています。そして、職場復帰後は仕事と家庭の両立というハードルを乗り越え、これからも新たな地域での出会いを大切にしてくつもりです。

## 地域に根ざした保健師をめざして

小野市役所 上田 愛美 (11期生)



こんにちは。11期生の上田（旧姓：佐治）愛美です。

私は卒業後すぐの平成19年4月に小野市役所に就職し、保健センターで成人保健が担当でした。ちょうど、老人保健事業から特定健診・保健指導に転換する時期と重なり、「結果を出す保健指導」に先輩方は試行錯誤していた時期。私はというと、新人特有の(?)勢いとパワーがあり余っていたこともあって、とにかく訪問や面接に出ていました。成人保健は、最初の段階では対象者と保健師の間でニーズがマッチしないことも多く、突破口を開くまでの難しさはありましたが、徐々に手ごたえを感じていました。また、並行して携わった母子保健では、日々成長・変化していく子どもと親の姿に感動しました。机上ではない市民と関わる場で、人生の先輩方に“こちらが学ばせていただく、一緒に考えていく”姿勢を身につけました。

そして4年目の今年、地域包括支援センターへ異動。高齢者の介護予防事業や出前教室などの地域支援事業を主担当とする傍ら、ケアプランにも携わっています。直接的なケアよりもマネジメントが多くなり、戸惑いの毎日です。一方で、市役所という組織特有の堅苦しさを越え、市役所内外の地域の組織を意識して活用すること、「地域を見る目」「他職種・他部門との連携の視点」が培われてきています。

保健師の活動は「人の生き方」に寄り添うことであり、“その場限り”ではなく経過や連続性があること、取り巻く環境が切り離せないことを日々実感しています。その分、縦割り行政の弊害によってケアの輪が繋がらない場面も少なくなく、業務分担を越え、いかに“その人の生活”を支援していくかが今後の課題です。

地域で市民に信頼される保健師になれるよう、自己研鑽を続けながらこれからも頑張ります。

## 保健師生活を振り返って

兵庫県立大学大学院修士課程2回生(地域看護学専攻・研究コース) 伊東 愛 (1期生)



けやき会の皆様、こんにちは、私は今、修士課程2回生として学生生活を送っています。ちょうど今は研究計画書の審査や倫理審査を終え、いよいよ研究のため現場に入ろうとしている段階です。

私は卒業後、育児をしながら様々な対象・地域で保健師活動を行って来ました。自分の活動をこれでいいのかと思っていた頃、縁あって大学の助手をすることとなりました。実習や研究など、多くの保健師さんや学生さんを通して多様な保健師活動を知り、この住民さん/地域には何が大事?、何が必要?、保健師として何をすべき?…と考える中で自分の活動や姿勢を振り返ることが出来、領域を越え様々な刺激も受けました。そして自分の不足部分に目をつむっておらず助手をしながらの大学院進学を決めました。途中第3子の妊娠・出産、退職を経験し、多くの方々のサポートを得て今の自分があります(長男は中学1年になり、大学には学生・教員合わせて11年通っていて歳を食ったなど正直ビックリです)。今は学生の傍ら、久しぶりの地域で新生児や特定保健指導の訪問、高齢者の健康教育など直接住民さんに触れ、「10数年前と変わったなあ」いや「ここは変わらないなあ」、「難しい!」でも「楽しい!!」と保健師を満喫しています。やはり保健師が好きなんだと実感しています。同時にこうした現場の活動を良くするために、実践に活かせる研究をしていきたい、いかなくはと身の引き締まる思いがしています。

最後に。今保健師をされている人へ、「保健師っていいですね!」。現場を良くするために進学も一つだし、学びたいと思う人がもっと学べたらいいと思います。そして今保健師をされていない人や興味を持たれている人へ、「保健師っていいですよ!」。お勧めです。

## 平成22年度樺まつりと「都市化と健康」の関係

平成22年度の樺まつりは世界保健機構（WHO）が定めた世界保健デーの一環であり、世界保健機構神戸センター（WKC）が焦点化している「都市化と健康」を考える、2010年度のイベントの一つとして登録されていました。ご存じのようにWKCはスイスに本部がある世界保健機構の直轄の研究センターで、自治体と企業が合同で誘致した特色ある研究所です。WKCでは2010年を世界の各地と協働して取り組んでいる研究課題である「都市化と健康」を世界の人々と共に考える画期的な年にしたいと計画を進めています。

樺まつりが参画した世界保健デーのキャンペーンは都市を健康にするグローバル・キャンペーンです。1,000都市を目途にしていたのですが、4月7日の時点で既に1,300都市がこのキャンペーンに登録していたようです。6月にはそれが138カ国1,542都市に広がっていたそうです。これらがどこかについてはホームページに入って参照してください。最も多く参加した都市があった国は中国、ブラジル、インド、スペイン、タイ、イラン、アルゼンチン、フィリピン、イラク、アメリカで日本は20都市にとどまったようです。このキャンペーンは世界の人々に「都市を健康にする」ということを認知してもらうことを目的とした第1陣です。多くのマスコミが取り上げた様です。皆さんはご覧になりましたか？

さて、その第2陣としてこの秋にこれらの活動から得

られたレポートについて、グローバル・レポートとして提示されることになっています。図書館にも配信されると思いますので、お立ち寄りください。

そして、これらに加えて世界各国で行われている研究結果等を含めた、グローバル・フォーラムが第3陣として11月15日から17日にWKCで行われます。ここでは健康チャンピオンが紹介され、（チャンピオンって、健康な都市の取り組みかなあと片田は若干分かっていないのです）政策公約を取り付けることまでを目的としています。ということは世界各国から参加する都市が、その都市の健康状態や健康の公平性について問題意識を高め、政策的に対応していけるようにするという事です。それぞれが取り組んでいることを共有することで、お互いが学び合い、それを持ち帰って自分の都市の健康に役立つよう、協力関係を築くこともねらっています。健康の不公平性を是正できるような公約作りまで持って行こうとしています。

こんな壮大なプログラムの発端を、樺まつりも担ったこととなります。地域にある大学が地域にいる方々と健康について語り合い、情報を提供し、理解し合えるような取り組みというのはなかなか価値ある取り組みです。登録できたということは世界規模の思考力があったということだと思いませんか？

片田 範子

## 勉強会等の今後の日程と問合わせ先

各領域の事例検討会・研究会にご興味をお持ちの方は、お気軽にお問合わせください。



### ●母性看護事例検討会

卒業生・修了生、実習施設の看護職などと共に、毎月1回事例検討を行っています。卒業生・修了生の皆様はどなたでも参加可能ですので、ぜひいらして下さい。ご参加頂ける際は、下記までご連絡下さい。

日時：基本的に8月を除く、毎月第2木曜日  
18：00開場、18：30開始

場所：明石キャンパス地下1階 大会議室

連絡先：母性看護事例検討会事務局（岩國/西堀）

【電話】078-925-9441

【メール】akiko\_iwakuni@cnas.u-hyogo.ac.jp

### ●精神看護勉強会

日時：11月6日(土) 13時30分～16時

平成23年2月19日(土) 13時30分～16時

問合わせ先：兵庫県立大学看護学部

生涯健康看護講座（精神看護学）

近澤範子 先生

TEL&FAX 078-925-9430

### ●ひょうご保健師研究会

定例研究会を年4回・公開研究会を年2回開催しています。

平成22年度

定例研究会：5月22日(土) 7月3日(土)  
10月23日(土) 12月11日(土)  
時間は13：00～16：00

公開研究会：1回目：9月4日(土)

2回目：H23年3月頃

(時期・内容未定)

上記についてお問い合わせ、参加申し込みは下記まで

chiki@cnas.u-hyogo.ac.jp

(地域看護学分野 牛尾・塩見・奥田)

## ～がん看護学講座からのメッセージ～

卒業生・修了生の皆さま

がん看護学講座では、「症状マネジメントに関する研究」、「がん看護を担う看護師向けのコンサルテーション技術の開発」などの研究に取り組んでいます。また、がん患者の療養生活を支えるための情報を制作しWeb上で公開しています。詳細は以下のサイトをご覧ください。

\*クラスタサイト紹介：

<http://sm-support.net/index.php>

\*がん患者用パンフレットの制作：

[http://www.coe-cnas.jp/group\\_cncr/index.html](http://www.coe-cnas.jp/group_cncr/index.html)

現在、質の高い医療従事者を育成するため、文部科学省による「がんプロフェッショナル養成プラン」が開始され、全国で18件が採択されています。本学看護学研究科も採択され、大阪大学他3大学と連携し「チーム医療を推進するがん専門医療者の育成－集学的治療から在宅医療そして緩和ケアまで－」に取り組んでいます。

\*関連サイト：<http://osaka.ganpro.jp/object.html>

また、年に2回、修了生によるOCNS会が開催され、情報交換・協同研究・CNS支援が行われています。今後は、がん看護に携わる地域の看護職の皆さんと事例検

討会の開催を計画しております。

がん看護に関心のある方は、是非研究室にご連絡下さい。研究への参加、大学院への進学、事例検討会への参加などお待ちしております。内布のアドレスは、[a\\_uchinuno@cnas.u-hyogo.ac.jp](mailto:a_uchinuno@cnas.u-hyogo.ac.jp)です。

以下のサイトでは、がん看護に関する動画を公開しておりますのでご覧ください。

「がん患者にとっての補完療法と看護師の対応」

[http://www.cam.med.osaka-u.ac.jp/lecture/moves/naifu\\_sensei/index.html](http://www.cam.med.osaka-u.ac.jp/lecture/moves/naifu_sensei/index.html)

「上手ながん療養法－看護師さんを活用する－」 前編 後編  
<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/kanwai/active/2009/20091128/movie.php>

がん看護学のコース紹介動画

<http://osaka.ganpro.jp/movie/lecture1.html>

がん看護学が提供する講義「Advanced Health Assessment in Oncology Nursing Seminar」の内容

<http://osaka.ganpro.jp/movie/special.html>

内布 敦子



### 養護教諭二種免許取得に関するお知らせ

従来、保健師資格のみに基づいて養護教諭二種免許申請・取得が可能と理解されてきたものの、教職員免許法では、あわせて「日本国憲法 二単位、体育二単位、外国語コミュニケーション二単位及び情報機器の操作二単位」（教育職員免許法施行規則第六十六条の六）の取得が要件とされています。この要件に関して、文部科学省は、今年度（22年度）当初から、免許法の趣旨徹底を図る説明を行ってきました。

今後、養護教諭二種免許取得を考えておられる方は、兵庫県立大学看護学部学務課（078-925-9404）へご連絡ください。

### ブログを始めました！

母校は今どんな様子だろう…  
恩師は今どうしているかな…

そんなけやき会会員の皆様へ情報提供ができればという思いから、大学に在籍しているけやき会役員が中心となってブログを始めました。けやき会のHPにユーザー登録すれば閲覧することができます。

ログイン後「CNAS Today」へとお進みください。大学の様子や、今日の恩師の様子などをお伝えしますので、是非ご覧ください。

◆ブログURL

<http://www.keyaki-kai.com/modules/newbb/viewforum.php?forum=2>

### 会報発行協力金 協賛者一覧

(平成22年8月17日 現在)

#### ■平成22年

##### 特別会員

鵜山 治	片田 範子	井上 史子
牛尾 裕子	勝田 仁美	小東 由樹子
内布 敦子	塩塚 優子	比嘉(下野) なぎ沙
岡元 行雄	松岡 千代	住岡(西村) まどか
長田 浩吉	松田 裕子	三浦 登志
	本 祥生	

#### 平9

佐々木 玲子

#### 平10

得平(新川) 佐織

#### 平11

栗田(亀山) 沙代子

#### 平12

井上 史子

小東 由樹子

比嘉(下野) なぎ沙

住岡(西村) まどか

三浦 登志

#### 平14

徳田 幸代

前山 直子

福田(目瀬) 智子

米田 尚子

小巻 京子

牧野(為則) あゆみ

平17

池島 佳菜

石神(辻) 美由紀

平18

井口 有紀

水野 健司

竹村 和子

八家 公代

平19

芝田 健輔

平20

確 永真子

平21

上田 美智子

平11博前

岩切 真砂子

遠藤 久美

高山 成子

平12博前

森 菊子

平13博前

岡島 恵子

平14博前

北山 さゆり

平15博前

安藤 光子

植村 由美子

西山(米倉) みどり

#### 平16博前

森山(多田) 祐美

成松 恵

平17博前

藤田(北森) 純子

白石 佳子

仲村 直子

平18博前

小林 仁美

児玉(瀧上) 菜桜

平19博前

江上 史子

#### 平21博前

菅原 聡子

平14博後

加藤 令子

平15博後

野澤 美江子

平19博後

安藤 幸子

皆様ご協力ありがとうございます。会報の一部に使わせていただきます。

兵庫県立大学看護学部同窓会 けやき会 平成21年度決算書・平成22年度予算案

平成22年5月23日

【決算書】収入の部 (H21.9.3～H22.3.31)

費目	平成21年度決算額	備考
会費		
'99年度 修士卒	¥10,000	1人×¥10,000
'09年度 学部卒	¥390,000	39人×¥10,000
修士卒	¥70,000	7人×¥10,000
雑収入	¥5,341	利子・サラトからの返金
学友会からの収入	¥287,794	
前年度繰越金	¥5,626,458	
<b>収入合計</b>	<b>¥6,389,593</b>	

【予算案】収入の部 (H22.4～H23.3)

費目	平成22年度予算案	人数	会費
会費			
'96年度 学部卒	¥288,000	36	8,000
'97年度 学部卒	¥540,000	54	10,000
'98年度 学部卒	¥660,000	66	10,000
修士卒	¥80,000	8	10,000
'99年度 学部卒	¥230,000	23	10,000
修士卒	¥100,000	10	10,000
'00年度 学部卒	¥210,000	21	10,000
修士卒	¥30,000	3	10,000
'01年度 学部卒	¥280,000	28	10,000
修士卒	¥0	0	10,000
'02年度 学部卒	¥130,000	13	10,000
修士卒	¥10,000	1	10,000
'03年度 学部卒	¥130,000	13	10,000
修士卒	¥20,000	2	10,000
'04年度 学部卒	¥130,000	13	10,000
修士卒	¥30,000	3	10,000
博士卒	¥10,000	1	10,000
'05年度 学部卒	¥340,000	34	10,000
修士卒	¥30,000	3	10,000
博士卒	¥0	0	10,000
'06年度 学部卒	¥200,000	20	10,000
修士卒	¥50,000	5	10,000
博士卒	¥0	0	10,000
'07年度 学部卒	¥400,000	40	10,000
修士卒	¥70,000	7	10,000
博士卒	¥10,000	1	10,000
'08年度 学部卒	¥280,000	28	10,000
修士卒	¥20,000	2	10,000
博士卒	¥0	0	10,000
'09年度 学部卒	¥780,000	78	10,000
修士卒	¥50,000	5	10,000
博士卒	¥0	0	10,000
'10年度 学部卒	¥1,200,000	120	10,000
修士卒	¥250,000	25	10,000
博士卒	¥0	0	10,000
'10年度 学部入	¥1,110,000	111	10,000
修士入	¥170,000	17	10,000
博士入	¥50,000	5	10,000
前年度繰越金	¥6,062,945		
<b>収入総計</b>	<b>¥13,950,945</b>		

【決算書】支出の部 (H21.9.3～H22.3.31)

費目	平成21年度決算額	備考
I ホームページ		
作成費	¥5,250	
年間運営費	¥84,000	
II 総会		
消耗品	¥28,443	接待用菓子、弁当、消耗品
講師謝金・謝礼品	¥41,275	
講師交通費	¥6,840	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥150,000	
IV 会費返金	¥10,000	重複して徴収していたため
V その他	¥840	振込代等
<b>支出合計</b>	<b>¥326,648</b>	

平成21年度決算残高	収入総計	¥6,389,593
	支出総計	¥326,648
	<b>差引残高総計</b>	<b>¥6,062,945</b>
平成21年度決算報告について監査を行い、以上相違有りません。		
監査	菅野由美子 (印)	
	藤原由子 (印)	

【予算案】支出の部 (H22.4～H23.3)

費目	平成22年度予算案	備考
I ホームページ		
年間管理費	¥100,000	
II 会報		
会報作成・郵送費	¥200,000	
III 樺まつり講演会・総会		
消耗品費	¥40,000	
講師謝礼	¥60,000	
講師交通費	¥50,000	
通信費	¥400,000	
IV 事務		
消耗品費	¥20,000	
V 予備費	¥1,000,000	
<b>支出総計</b>	<b>¥1,870,000</b>	
<b>収支差額</b>	<b>¥12,080,945</b>	

総会報告

平成22年5月23日(日)、兵庫県立大学明石キャンパス講堂にて第14回総会が開催されました。新役員承認、平成21年度後半の収支決算報告と承認、平成22年度予算案報告と承認がなされました。また、大学より依頼がありました「学部生の学術奨励への貢献」に関して審議した結果、「①10万円を限度額として、今年度入学生よりTOEIC受講料の補助を行うこと、②次年度の総会で状況報告を行い次年度以降の継続について検討すること」などが承認されました。尚、総会にて上記が決定した後に、大学側から援助の辞退がありました。

けやき会 新役員名簿

平成22年度より、鎌田奈津さん、井上知美さんが新役員となりました。役員一同頑張っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。

会長	芝田健輔	書記	池原由布子
副会長	西原沙織	書記	鎌田奈津
副会長	東原知宏	庶務	田中雅代
会計	岩國亜紀子	庶務	井上知美
会計	福島弘子		

編集後記

けやき会会員の皆様、今回の会報はいかがでしたか？

樺まつりでのセミナーは、国内外において国際看護で活躍されている、卒業生や修了生の話を聞いて、視野を広げたいという声から開催されました。会報にも、活躍する卒業生からのメッセージをいただきました。今後も、けやき会の皆様の活躍をお届けできればと思っています。

また、今年度より、樺まつりと総会を同時に開催することになりました。

セミナーと総会にご参加いただける機会ですので、ぜひ来年度もお待ちしております。新設された、けやき会のブログも覗いてください。

けやき会からのご案内